

SH波による外面からのドラム缶内面欠損調査システム SHEED

株式会社アルファ・プロダクト



内容と特徴

- ①金属板の外面内面を問わず、SH波の伝搬範囲内のキズを1回で探知できる。
- ②探触子固定の場合、1回の探査時間は約1分以下。
- ③SH波の伝搬範囲は概ね頂角29度・高さ1mの二等辺三角形。(約0.24m²)
- ④探触子を回転させ、探触子から半径1mの半円内を探査できる。特許申請中
- ⑤厚さ10mm程度までの金属板であれば、形状を問わず探査できる。
- ⑥ドラム缶の場合、内容物が液体や固体でも問題なく探査できる。
- ⑦回転探傷法では、パレット積のドラム缶の側板と底板が積載状態で探査可能。
- ⑧現在新技術開発財団の認可を受けて自動測定器を開発中。
- ⑨2017年北陸電力(株)志賀原子力発電所で受注。

従来技術に対する優位性

従来の垂直探傷検査に比較してはるかに高効率であり、錆や腐食も検知できる。

予想される効果・応用分野

ドラム缶やダクト等の検査、石油備蓄タンク等の検査

